

**Q2** 工事のために取得した土地の工事後の利用計画について。

**答** (藤掛建設課長)

工事のために取得した土地は、平成32年度まではこのまま利用します。工事が完了した後、どのように利用するかは、今後、有効な利用方法を検討して参ります。

**Q3** 荒川橋東交差点の改良の必要性について。

**答** (藤掛建設課長)

荒川橋東交差点の北側道路は幅員も狭く歩道もありません。信号待ちしている車両があると、すれ違いが困難なことや、歩行者が危険なことは認識しております。

この道路は県道ですので、今後、協力をいただきながら岐阜県公安委員会と協議して参ります。

**Q4** 工事の説明や見学会を子供たちに伝えることが必要ではないか。

**答** (堀部教育長)

平成22年7月、平成23年9月に八百津町で起きた集中豪雨による水害被害を子どもたちに伝えていくことは大変重要なことです。浸水被害を未然に防ぐために、八百津排水路工事はどうしても必要な事業であることを子どもたちに知らせることが重要であると考えています。



荒川橋東交差点



**柘植清貴 議員**

**問 平成31年度の予算編成について**

**Q1** 平成30年度事業について現時点での事業評価についてと、平成31年度予算編成の基本方針を伺う。

**答** (金子町長)

窓口業務、通常業務は順調に業務を遂行しています。「人呼び込む魅力あるまちづくり」を重点方針として、新規事業では、新婚世帯家賃等補助事業(家賃補助または引越し費用補助)を施行しました。

大規模事業として、錦津保育園整備事業は、のびのびとしたゆとりのある保育園として、12月25日に竣工式を迎えます。八百津地区雨水管渠整備事業は、今年10月に着手しました。

商店街空き店舗再生事業、サートイーズ健康診査事業、人道の部屋づくり事業、健康増進計画策定事業、地域公共交通網形成計画策定事業、中学生海外派遣事業など、すべて順調に執行されています。

平成31年度予算編成の基本方針については、「次世代に繋げる安心・安全なまちづくり」を重点方針として、「ひとと自然が響きあい未来へ奏でる人道のまち やおつ」とした第5次総合計画、地方版総合戦略に基づ

く特色ある事業を積極的に推進し、将来像の実現を目指します。大型事業は補助金、起債、基金等を有効に活用して参ります。

**Q2** 新年度の予算編成スケジュールについて。

**答** (金子町長)

去る10月24日に平成31年度予算編成方針を示し、編成作業に着手しました。11月22日には、各課から予算要望が出揃い財政係が精査し、12月中に副町長査定を行い、各種事業等の必要経費等の見直しを図り、1月中旬には町長査定を行い予算案を策定いたします。

**Q3** 教育関連施策について。

**答** (堀部教育長)

これまで次の施策等に力を入れてきました。  
①本町出身の元外交官杉原千畝氏の人道の心を身につけさせ、思いやりの心を育てるために人道教育(人権教育)を推進しています。

②グローバル化が進む中、国際共通語である英語力の向上は、将来にとって極めて重要な課題です。小学校にイングリッシュアドバイザーを配置するとともに、保育園・小中学校ではALTによる指導を行っています。  
③少人数学習の支援、低学年児童の支援、特別支援学級の支援

など、きめ細かな指導ができるように学校支援員を配置しています。

④一流の選手を「夢先生」として、「夢の教室」を実施し、夢を持つことのすばらしさ、それに向かって努力することの大切さを学ばせています。

⑤学校の空調設備、タブレットパソコンの導入、トイレの洋式化、照明のLED化に取り組んでいます。

新年度も引き続き、特色ある教育関連施策の充実に力を注ぎ、家庭教育の支援の充実、地域ぐるみの教育を行うためのコミュニティスクールの設置などを考えています。

未来を担う子どもたちのために、一層教育の充実に邁進したいと思えます。

